

<p>I 提言の趣旨</p>	<p>現行の短期アクションプランに基づく取組み成果の検証と、昨今の本県を取り巻く社会経済動向を踏まえ、次期4年間で重点的に進めるべき施策展開の方向性を提示</p>		
<p>II 現行短期アクションプラン期間における県づくりの成果</p>		<p>III 本県を取り巻く社会経済動向</p>	
<p>1 成果についての基本的な認識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行の短期アクションプランに基づき、毎年、事業の進捗状況や目標指標の達成等を検証・評価しながら、各般の施策を展開 ・目標指標の各年の実績値をみても、その多くが順調に推移 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 200px;"> 第3次山形県総合発展計画の目標の実現に向け、強固な基盤を築くことができている </div>			
<p>2 県づくり構想の3つの柱における取組みの主な成果と課題 [◇：結果・成果 ◆：課題]</p>			
<p style="text-align: center;">＜「暮らし」分野＞</p>	<p style="text-align: center;">＜「産業・経済」分野＞</p>	<p style="text-align: center;">＜「地域社会」分野＞</p>	
<p>① 子どもを生育育てる地域の総合力の再生・強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇平成26年から3年連続で待機児童ゼロを達成 ◆より安心して子育てできる環境づくりが課題 <p>② 未来の礎となる教育や人づくりの推進と多様な自己実現の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇長期欠席児童生徒の割合が低いなど、安定した学校生活 ◆児童生徒の学力向上が課題 ◇有形無形の文化財を保存・活用する取組みを登録する「未来に伝える山形の宝」制度の創設 ◆固有の文化やスポーツの価値を再認識し、人づくりや地域活性化に活かすことが課題 ◇女性の活躍を促進する「やまがた女性活躍応援連携協議会」を設置 ◆一人ひとりが能力を活かし活躍できる環境づくりが課題 <p>③ 暮らしを支える公的基盤の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇医師数及び看護師数等が増加傾向 ◆将来にわたり、誰もが安心して受けられる医療・福祉サービスの提供体制の整備が課題 ◆健康寿命の延伸が課題 ◇障がい者を理由とした差別の解消に向けた条例を制定 ◆障がい者が安心した生活を送る支援の充実が課題 ◇「山形県強靱化計画」を策定 ◆多発・激化している自然災害への備えを強化することが課題 ◇防犯活動の推進等により刑法犯認知件数が減少傾向 ◆犯罪を未然に防ぐ取組みの強化が課題 <p>④ 地域課題の解決や地域活性化を図る地域ビジネスの創出・振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇アドバイザーの派遣や地域づくり実践者を対象とした研修等を実施 ◆相談体制の一元化や支援体制の確立が課題 	<p>① 暮らしの質と産業活力を高める研究開発の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇合成クモ糸繊維の事業化やバイオ関連企業の起業化が進展 ◆県内企業の技術的優位性の確立と、付加価値の向上が課題 ◆将来的な成長性確保に向けて先導的研究開発の促進が課題 <p>② 日本の食を支える「食料供給県山形」の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇平成28年度調査で新規就農者は300名となり昭和60年以降最多 ◇「つや姫」は消費者、流通関係者から高い評価を獲得 ◆競争力の高い産地形成に向け生産基盤の維持・強化等が課題 <p>③ 県産農林水産物の販売力の強化と総合産業化の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇平成27年度の県産農産物の輸出は987トンと過去最高 ◆県産農林水産物のブランド力の向上が課題 ◇県内各地で木質バイオマス発電施設の稼働に向けた動きが本格化 ◆県産木材の有効活用と再生林の取組みの加速が課題 <p>④ 世界に広がる「ものづくり山形」の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇商談会の開催等により取引あっせん・成立件数は増加 ◆成長期待分野をけん引する中核企業の育成、中小企業・小規模企業者の経営力の強化が課題 ◇海外取引を拡大する県内企業数が着実に増加 ◆世界に通用する山形ブランドの普及が課題 <p>⑤ 魅力ある「観光・交流山形」の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇県民総参加・全産業参加による観光振興の取組みを強化し、平成26年の観光客は4,517万人と過去最高を記録 ◆観光資源の高付加価値化、戦略的な誘客が課題 ◆多様な主体が一体となった観光産業の競争力強化が課題 <p>⑥ 多様な就業機会の創出・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇新規創業支援件数が大きく伸び、新たな雇用機会を創出 ◆有効求人倍率は1倍超が続くが、ミスマッチ解消が課題 ◆女性や高齢者等多様な人材が活躍できる環境整備が課題 	<p>① 良好な環境と暮らしや産業が共に高まり合う「環境先進地山形」の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「山形県エネルギー戦略」に基づく再生可能エネルギーの開発量は概ね順調に推移 ◆風力発電事業の展開加速や木質バイオマスエネルギーの燃料となる県産木材の安定供給が課題 ◆再生可能エネルギーの地産地消による地域活性化モデルの展開が課題 ◇森林を守り、暮らしに活かしていく機運が高まり、森づくり活動参加者数が増加 ◆山岳資源や水資源等を活かした地域活性化が課題 <p>② 暮らしや産業を支える社会資本の機能向上・長寿命化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟」を設立 ◇山形～羽田便と山形～名古屋便の2便運航が実現 ◆格子状骨格道路ネットワークの形成や、奥羽・羽越新幹線整備に向けた取組みの加速が課題 ◇酒田港の港湾機能強化によりコンテナ貨物量が大幅増 ◆海外の活力を取り込む拠点となる、酒田港のさらなる機能強化や県内2空港の利便性向上が課題。 ◆近年多発している洪水被害などの自然災害に備えたインフラ整備の着実な推進が課題 ◆ICTの積極的な利活用を進めていくことが課題 <p>③ 地域の特色を活かし質的な豊かさを享受できる生活圏の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇市町村が行う産業施設や商業施設の整備等を支援 ◆誰もが日常的に利用できる「まち」の拠点性の維持・再生が課題 ◇地域住民が主体となった拠点づくりのモデルとなる取組みを支援 ◆住民主体による地域課題解決への取組みの促進が課題 	
<p>1 少子高齢化を伴う人口減少の加速</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働力不足による生産活動低下と消費支出減少による経済成長力の低下 ・地域コミュニティ機能の弱体化 <p>2 ICTの劇的な進歩</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで経験したことの無い利便性向上等をもたらす「超スマート社会」の到来 ・産業構造、就業構造が一変する状況は新たなビジネス創出の好機 <p>3 グローバリゼーションの進展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球上のあらゆる地域間でビジネスや交流が活発化 ・東京オリンピック・パラリンピック開催による日本への関心の高まり <p>4 多発する自然災害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模地震に対する不安の高まり ・洪水被害や土砂災害の多発 <p>5 様々な格差の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産性、所得水準、消費活動等での地方と大都市の格差 ・非正規雇用労働者の増加 ・貧困の世代間連鎖の社会問題化 <p>6 資源・エネルギーの制約や地球環境問題の深刻化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資源価格の不安定化 ・再生可能エネルギー導入の動きの拡大 <p>7 地方の生活への意識の高まり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆったりとした生活が可能な地方での暮らしを重視する人の増加 			

IV 次期短期アクションプラン期間における県づくりの基本的考え方

1 全分野に共通する基本的考え方

- ◇これまでの取り組みによって得られた成果を広く県内各地に行き渡らせ、県民一人ひとりが山形らしい豊かさを実感できるようにする
- ◇総合発展計画の総仕上げに向けて、地域の自立的かつ持続的な活性化に向けた対策を着実に展開し、県民誰もが将来への明るい展望を描ける活力に満ちた社会の実現を目指していく

2 施策展開にあたっての視点

- ◇県民が暮らしの中で直面している様々な課題を的確に把握し、対応していくため、県民の視点に立ち、これまで以上に若者も含め県民との対話を重視していく
- ◇県民が安心して豊かな生活を営むため、その基盤となる産業の活性化による安定的な雇用の創出や所得の向上につなげ、賑わいと活力を備えた地域社会を創り上げていく

重視すべき点

(1) 県民一人ひとりが思い描く活躍の実現	(2) 様々な地域資源を活かした魅力の創造	(3) 国内外や分野横断の交流拡大	(4) 豊かさを支える未来への投資	(5) 県民はじめ多様な担い手との協働	(6) 市町村とのさらなる連携
-----------------------	-----------------------	-------------------	-------------------	---------------------	-----------------

V 次期短期アクションプラン期間において展開すべき施策と主な取組方向 「◎」施策の考え方、「・」主な取組方向

<「暮らし」分野>

<p>(1) 出会い・結婚・出産・子育ての希望の実現</p> <p>◎ 次代を担う子どもたちを育成する価値を社会全体で共有し、家庭、企業、地域などがそれぞれの立場で出会い・結婚・出産・子育ての支援の一翼を担う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出会いから結婚までの継続的な支援の充実強化 ・妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援体制や社会全体で子育て家庭を応援する仕組みの構築、保育人材の確保など、安心して子育てできる環境の整備 ・長時間労働の是正や育児・介護休業制度の活用促進など、子育て世代が働きやすい職場づくりの促進 ・子どもへの学習支援など、貧困を連鎖させないための支援の充実 	<p>(4) 文化・芸術、スポーツの振興</p> <p>◎ オリンピック・パラリンピック等に向けて、スポーツや文化・芸術を振興し、郷土への愛着と誇りを醸成するとともに、やまがた創生の原動力にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県関係選手からのメダリスト輩出に向けた競技力の向上や、総合型地域スポーツクラブの創設・育成の促進 ・文化・芸術の鑑賞や発表機会の拡大のほか、文化・伝統芸能の担い手や指導者の育成、文化を伝承する活動への支援 ・日本遺産など世界に誇れる文化・芸術や東京オリ・パラにおけるホストタウンなどを通じた交流の拡大 	<p>(7) 障がい者等がいきいきと暮らせる共生社会の実現</p> <p>◎ 障がいの有無や多様な特性・個性によって分け隔てられることなく、互いに尊重し合いながら共に生きる社会づくりを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心のバリアフリーを推進する仕組みの地域展開など、障がいや障がい者に対する県民の理解の促進 ・グループホームの立ち上げ支援など、障がい者が地域で自立した生活を送るための取組みの促進 ・多様な特性や個性を認め合い、尊重する意識の醸成
<p>(2) 子どもの多様な力を引き出す教育の推進</p> <p>◎ 豊かな心と健やかな体、確かな学力を基盤として、急激に変化する社会において主体的に行動し自立できる力と、地域への愛着を育み、未来の山形を支える人材を育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究型学習の推進などによる確かな学力の育成 ・魅力ある小規模校教育の展開や、中高一貫教育校の整備の検討 ・地域や企業と連携したキャリア教育の推進 ・公教育の一翼を担う私立学校に対する支援（運営費や校舎の耐震化など） 	<p>(5) 安心して健康で長生きできる社会の実現</p> <p>◎ 高齢者人口の増加等による将来の医療需要の変化を見据えた医療提供体制の充実と、生涯にわたりいきいきと暮らしていくための基盤である心身の健康づくりを進め、「健康長寿やまがた」を実現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急性期医療の充実など救急医療体制の強化 ・医師・看護師等医療従事者の確保・定着の推進 ・受動喫煙防止対策をはじめ、家庭や学校、職場などの活動領域やライフステージに応じた望ましい生活習慣の定着など生活習慣病対策の強化 ・重粒子線がん治療装置なども活用した総合的ながん対策の推進 	<p>(8) 危機管理機能の充実強化</p> <p>◎ 災害等への対応力を高め、安全で安心な県民生活を維持できる危機管理機能の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洪水浸水想定区域図や火山防災マップの作成、高齢者施設の避難計画の策定促進等を通じた実践的な防災訓練・防災教育の実施など、防災意識の向上・地域防災力の強化 ・防災行政無線などによる伝達体制の整備や大規模災害時の拠点の整備など、災害対応体制の強化 ・DMAT（災害派遣医療チーム）隊員の養成や福祉避難所の整備促進など、災害時医療救護・福祉体制の充実・強化
<p>(3) 県民誰もが能力を発揮し、活躍できる環境整備の促進</p> <p>◎ 女性も男性も、若者も高齢者も、障がいのある人もない人も、県民一人ひとりが自己の夢や希望の達成に向けて、それぞれの能力を活かし、多様に活躍する、豊かな暮らしの実現と社会全体の活力向上につなげていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性の管理職登用の促進、新規創業支援、建設産業等への女性の進出促進など、企業等における女性の活躍の促進 ・地域課題の解決や地域の賑わい創出などの地域づくりへの若者の主体的な参画の促進 ・インターンシップの促進、奨学金の返還支援、新規創業支援など、若者の県内就職・定着の促進 ・高齢者が豊富な知識や経験等を活かし、地域で社会貢献できる場や多様な働き方を選択できる環境の整備 ・障がい者の就労機会の拡大と、能力・才能を発揮できる場の拡大 	<p>(6) 高齢者もその家族も安心して暮らせる社会の実現</p> <p>◎ 在宅医療・在宅介護サービスの充実を図るなど、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる社会づくりを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まい・医療・介護・介護予防・生活支援を一体的かつ総合的に提供できる拠点整備の促進 ・介護ロボットやICTの活用等を通じた介護職員の負担軽減などによる介護・福祉人材の確保・定着の推進 ・介護休業制度の活用促進など、介護離職の防止に向けた働きやすい職場づくりの促進 	<p>(9) 暮らしの安全・安心の確保</p> <p>◎ 犯罪や交通事故など、暮らしに関する不安や危険を払拭するための取組みを強化し、県民の生命、財産を守る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特殊詐欺被害防止等の防犯活動や治安対策の拠点となる施設の整備等による体感治安の向上 ・高齢者等の交通事故防止対策の推進

＜「産業・経済」分野＞

（１）県内企業による新たな価値創出の加速

◎ 大学や研究機関、企業が持つ技術や競争力のある製品を活かすとともに、第４次産業革命等世界規模で進む産業構造の変革を好機に、本県産業の既存の枠組みを変化させ、市場において優位な位置を獲得する。

- ・ハイテクノロジーや有機エレクトロニクス等世界最先端技術を基にした産業群の形成や雇用創出の加速（国立がんセンター拠点も活用）
- ・成長期待分野における県内企業の受注・製品開発の連携促進のための中核企業*の育成
※その成長が地域に大きな波及効果をもたらす企業
- ・ものづくり、サービス等様々な分野横断の連携によるオープンイノベーション*の創出促進
※自社だけでなく他社、大学等の外部と共に、それぞれが持つ技術やアイデアを組み合わせ、革新的な商品やビジネスモデルを生み出すこと

（２）中小企業の稼ぐ力の維持・強化

◎ 地域経済の主役である中小企業・小規模事業者が、グローバル化やICT化等の社会情勢の変化に対応し、自らの技術やノウハウを最大限に発揮しイノベーションを創出するなど、その稼ぐ力を維持・強化する取組みを応援する。

- ・小規模事業者の意欲的な取組みも後押しするオーダーメイド型支援の充実
- ・第４次産業革命を見据えたIoT*の利活用等による生産性の向上
※Internet of Things；あらゆるものがインターネットにつながり自動制御等が行われること
- ・円滑な事業承継、後継者による新たな事業展開の加速

（３）県産品の販路拡大

◎ 国内の市場が成熟し商品が厳選される中、商品の魅力向上とともに、消費者に商品価値を伝えるなど、県産品の新たな潜在需要を掘り起こしていく。

- ・伝統工芸の技術と大学の新しいデザイン力とのコラボレーション等による、魅力ある県産品の創出
- ・「メイドインやまがた」のブランドコンセプトを用いたターゲットに合わせた国内外へのプロモーションの展開や販路開拓支援の強化

（４）県内企業の海外取引の拡大

◎ 成長が著しいアジア等の活力を本県に取り込むため、地域経済のけん引役である中核企業や意欲ある中小企業が行う海外取引を力強く後押ししていく。

- ・県内企業の海外取引拡大に向けたセミナーの実施や相談体制の強化
- ・酒田港を活用した国際物流の拡大

（５）産業人材の確保・育成と働き方改革の推進

◎ 本県経済の成長力強化に向けて、潜在的な労働力の活用、今後の成長分野への就労支援等により産業人材の充実を図るとともに、政府の動きを踏まえた働き方の改革を行う。

- ・インターンシップ等による若者の県内定着・回帰、県外からの高度人材獲得、企業の採用力向上、潜在的労働力の掘り起こし、雇用のミスマッチ解消、外国人技能実習生の活用等の促進
- ・本県産業の次代を担う技術者や研究者等の人材育成の推進
- ・非正規労働者の正社員化や就労者の所得向上に向けた取組み推進
- ・長時間労働の是正やICT活用等による多様で柔軟な働き方の普及等、働きやすい職場環境づくりの促進

（６）農林水産業の将来にわたる成長を支える基盤づくり

◎ 競争が激化する中において、持続的な成長を図るため、豊かな自然環境の特性や確かな農の技を活かし、さらに生産力を高め、所得向上につなげていく。

- ・経営管理能力の向上と施設整備等の一体的な支援による高い経営力を持ち地域農業をけん引する経営体の育成
- ・地域での研修受入等による新規就農者の育成・確保、女性や高齢者、障がい者等の多様な人材の活躍支援
- ・大玉さくらんぼ等の新品種やICT等を活用した生産技術の研究開発と生産現場への導入
- ・農地の大区画化や水田の畑地化等、生産基盤の整備推進
- ・次世代型施設の導入と大規模団地化による収益性の高い園芸農業の拡大
- ・「山形生まれ山形育ち」の畜産物（牛、豚、鶏）の生産拡大

（７）県産農林水産物の魅力の向上と販売力の強化

◎ 農林漁業者の所得向上に向け、消費者側の視点を踏まえつつ、県産農林水産物の可能性を最大限に引き出すことによって付加価値をさらに高め、国内外への販売力を高めていく。

- ・「農林水産業が盛んな地域」や「雪国」などの農業県山形の産地イメージの定着化による県産農林水産物のブランド化の推進、国内の主要都市における販路の拡大
- ・安全・安心な農産物に対する消費者ニーズに応える有機農業等の推進
- ・農林漁業者と県内食品製造業者との連携強化による新たな商品開発の推進
- ・ASEAN諸国やEU・アメリカ等での本県の農林水産物等の認知度向上による海外販路の開拓推進

（８）「やまがた森林ノミクス」の推進

◎ 県産木材の有効利用と再生を図りつつ、森林資源を「森のエネルギー」、「森の恵み」として活かし、産業振興と雇用創出を図っていく。

- ・森林作業道の整備等による安定的な供給体制の構築、再造林の推進
- ・森林管理認証の取得促進、公共施設・民間施設の整備における県産木材の利用推進
- ・林業と工業などの連携による新製品開発、木質バイオマスエネルギーの導入等の促進
- ・きのこ・山菜のプロモーション展開等による販売の拡大
- ・森林施業を担う人材や、県産木材と木造建築の知識を兼ね備えた人材の育成・確保

（９）「観光立県山形」の確立

◎ 本県が世界に誇る自然や文化などの魅力を発信し、交流を拡大することで国内外から様々な活力を引き込み、県民総参加・全産業参加のもと、観光産業を本県経済をけん引する基幹産業へ成長させる。

- ・山や滝、雪、まつり、紅花、精神文化などの地域資源や、ものづくり、農業等を複合的に組み合わせるなど、魅力的な旅行商品の開発促進
- ・学会や大規模イベント、映画ロケ、国内外の教育旅行の誘致、アクティブシニアや女性等ターゲットを明確にした効果的な誘客
- ・観光地のバリアフリー化、公衆無線LAN、交通アクセスの向上等、安心・快適な旅行環境の整備
- ・マーケティング、プロモーションを行う産学官金連携による観光地域づくり組織（DMO）への支援や観光人材の育成

（１０）インバウンド推進による交流人口の拡大

◎ 仙台空港の民営化や、外航クルーズ船の誘致、東京オリンピック・パラリンピック競技大会等による訪日客増加を好機ととらえ、急速な成長を遂げるアジアをはじめとする世界の観光需要を地域の隅々まで取り込み、地域の活力を高めていく。

- ・海外での商談会等を活用した旅行商品の造成等、経済交流と一体となったプロモーション等、東北各県と連携した効果的な誘客の推進
- ・仙台空港から本県への観光誘導拡大、国際チャーター便や外航クルーズ船の誘致の推進
- ・文化やスポーツ等の国際交流を通じた観光誘客の拡大

＜「地域社会」分野＞

(1) 国内外との交流を拡大する広域交通ネットワークの整備促進

◎ 国内外からの活力を取り込み地方創生の実現を図るとともに、災害時におけるリダンダンシー機能の確保のため、広域交通ネットワークを形成する。

- ・格子状骨格道路ネットワークの整備の推進と、ストック効果を高めるインターチェンジや道の駅の整備の推進
- ・奥羽・羽越新幹線の実現に向けた取組みの加速や、携帯電話不感地帯の解消など、鉄道ネットワークの機能強化
- ・航空機の大型化や路線の拡充、定期的な国際チャーター便の誘致などによる航空ネットワークの機能強化
- ・国際定期コンテナ船や外航クルーズ船の受入れのための機能充実や賑わいづくりなど、グローバル拠点としての酒田港の港湾機能の強化

(2) 新たな社会資本としてのICTの利活用拡大

◎ 「超スマート社会」の到来が予想される中、新たな価値の創造や生産性の向上をもたらすICTの活用を積極的に進めている。

- ・産業の付加価値増大に向けた、生産性の向上やマーケティングへのビッグデータ*の活用の促進
※ICTの進展により生成・収集・蓄積等が可能・容易になる多種多量のデータ
- ・安全安心の社会の構築や本県の次代を担う人材の育成に向けた、医療福祉分野や教育分野などでのICT活用の促進

(3) 再生可能エネルギーによる産業振興と地域活性化

◎ 県内各地域に豊富に賦存する資源を、地域を豊かにする再生可能なエネルギー資源として、地域の多様な主体が連携し、産業振興や地域活性化に活かしていく。

- ・陸上風力発電の推進や洋上風力発電の導入可能性の検討など、大規模発電事業の県内展開の促進
- ・農業など地域の様々な分野における、太陽光、中小水力、バイオマス、地中熱、雪氷熱、温泉熱等再生可能エネルギーの地産地消の促進
- ・ZEH・ZEB*の普及推進や、県内のCO₂削減効果を企業等に売却し、その収益を地域に還元するJ-クレジット制度の活用などCO₂削減の取組みの推進
※ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス、ネット・ゼロ・エネルギー・ビル
の略。断熱性の向上や高効率な設備システムによる省エネルギー化を実現したうえで再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロまたはマイナスとなる建物のこと。

(4) 国内外に誇れる優れた環境資産の保全・創造・活用

◎ 県土の7割を占める豊かな森林資源や湧水等の水資源など、県民にとって貴重な財産である自然環境を守りながら、地域の産業や暮らしに活かし、次世代につないでいく。

- ・CO₂の吸収源等多面的機能を有する森林資源の保全や、野生鳥獣の適正な保護・管理等の推進
- ・やまがた百名山や里の名水の選定、「鳥海山・飛島ジオパーク」などにより地域の環境の魅力や価値を高める取組みの促進
- ・本県が誇る山々や名水等を守り活かす人材の育成や、それらを観光や教育に活用する取組みの推進

(5) 地域の特性を活かし豊かさを実感できる圏域の形成

◎ 都市と中山間地域がそれぞれの特性を踏まえ暮らしの質の向上に必要な機能やサービスを確保し高めるとともに、圏域間の連携を通じて、地域の活力の向上に結びつけていく。

- ・周辺地域や隣接市町村が連携したコンパクトな都市機能を備えたまちづくりの促進
- ・空き家等を活用した子育て世帯のニーズに応じた住替え支援や、中古住宅の取得支援等の総合的な住宅対策の実施など、快適に安心して暮らせる居住環境の整備の促進
- ・住民が主体となった地域づくりの促進や買い物などの生活に必要なサービスの確保に向けた支援等の充実
- ・雪に強い安全安心な生活環境の確保と、雪の魅力の発信による交流拡大や、雪に関する技術や雪を活かした商品の開発の促進などによる地域の活性化
- ・都市と中山間地域や、市町村間、近隣県等との多様な連携の促進と、県と市町村とのさらなる連携

(6) 県民の生活を支える社会資本の整備・機能強化

◎ 防災・減災への対応や地域交通ネットワークの形成など、社会基盤を整備・充実するとともに、効果的・効率的に維持管理・運用し、将来にわたり暮らしを守り支える機能を確保する。

- ・個人の住宅や不特定多数の人が利用するホテル等大規模建築物、公共施設の耐震化など大規模地震対策の促進
- ・激甚化する水害・土砂災害、火山の噴火、津波などの自然災害を防止又は最小限に留める施設等の景観や親水性などにも配慮した整備の推進
- ・市町村や地域自らが実施する地域公共交通の運行効率化に向けた取組みに対する支援等による、生活交通の維持・確保
- ・ICTの活用等による道路等の社会資本の長寿命化の推進
- ・河川や道路の清掃など県民や事業者の参加も得た社会資本の機能の維持管理・向上の促進